

科目名	国語Ⅰ Japanese I			担当教員	長原しのぶ・坂本具償		
学 年	1 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	17120001	単位区分	履修単位
学習目標	1. 現代文や古典、漢文の読解を通して、幅広い物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	講義形式を基本とする。課題ノートなどを活用して予習・復習に努めてほしい。原則として前期10回、後期10回の漢字小テストを実施する。適宜、読書の時間を設ける。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	※全体ガイダンス（1） 1. 現代文〔長原〕 （1）随筆「頭の中の無限大」（5） （2）小説「ほねとたね」（8）			・筆者の視点を変えろという考え方を理解し、具体的に説明できる。（A-1） ・主人公の心情の変化を場面を追って捉えることができる。（A-1）			
	※全体ガイダンス（1） 2. 表現（13）〔長原・坂本〕 ア. 仮名遣い イ. 送り仮名 ウ. 文字の使い分け エ. 句読点 オ. 同音異義語 カ. 同訓異字 キ. 類義語 ク. 慣用的表現			・正しい日本語で表現するための基礎的事項を理解し、それらの知識を適切に用いることができる。（D-1）			
	〔前期中間試験〕（4）						
	※試験返却と解説（1） 3. 現代文〔長原〕 （1）小説「羅生門」（8） （2）評論「水の東西」（5）			・文中の表現をたどりながら人物・情景・心情を理解し、作品のテーマを捉えることができる。（A-1） ・論理の構成や展開を把握し、筆者の着眼点と論旨をまとめることができる。（A-1）			
	※試験返却と解説（1） 4. 古文〔長原・坂本〕 （1）説話「児のそら寝」（2） （2）随筆「花は盛りに」（5） （3）物語「芥川」（6）			・古文を正しく音読し、読解に必要な基本的な文法を理解することができる。（A-1） ・作品を読み、古文独特の言葉や表現方法の特徴をふまえて内容の面白さを説明できる。（A-1）			
	前期末試験（4）						
	試験返却と解説（2）						
	5. 表現〔長原〕 （1）手紙文とメール文（5） 6. 現代文〔長原〕 （1）小説「とんかつ」（9）			・メール文と手紙文の基本的な書き方を理解する。（D-1） ・文中の表現をたどりながら人物の心情を理解し、題名「とんかつ」の意味を作品のテーマに沿って説明できる。（A-1）			
	〔後期中間試験〕（2）						
	※試験返却と解説（1） 7. 現代文〔長原〕 （1）評論「自然保護の二面性」（5） 8. 漢文〔長原〕 （1）漢文入門（4） （2）史伝「晏子の御者」（4）			・文章の論理展開を的確に捉え、論旨をまとめることができる。（A-1） ・漢文の基本的知識を理解し、正しく音読できる。（A-1） ・全文を書き下し文にし現代語訳できる。（A-1）			
	後期末試験						
試験返却と解説（2）							
評価方法	1. 評価の内訳：漢字小テストの成績を10%、提出物15%、定期試験75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価における割合は、1～2、3～4、5～8をそれぞれ1/3ずつとする。						
履修要件	特になし						
関連科目	国語Ⅰ（1年）→国語Ⅱ（2年）→国語Ⅲ（3年）→文学特論Ⅰ（4年）→文学作品講読（専攻科2年）						
教材	教科書：新編国語総合 教育出版 影山輝國他（ISBN978-316-20335-5） 問題集：新編国語総合学習課題ノート 教育出版（ISBN978-4-316-40927-6） 漢字：級別漢字学習4級～2級（改訂常用漢字表対応版） 東京法令出版 赤羽靖他 表現：基礎からの国語表現の実践（改訂版） 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 図説：新総合図説国語（新訂版） 東京書籍 池内輝雄他 辞書：電子辞書（国語辞典・古語辞典・漢和辞典）						
備考	単位追認試験、再試験は適切な時期に実施する。月曜日放課後をオフィスアワーとする。						